

2022年(令和4年)  
1月1日 土曜日  
第1870号

# 京都自動車新聞



旧年中は格別のご高配を賜り  
まことに有難く厚く御礼申し上げます。  
本年もより一層のご支援を賜りますよう  
心よりお願い申し上げます。

株式会社 京都自動車新聞社  
社員一同

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidosha-np.jp



地域交通、通勤通学、パワフルな駆動音、人を図らずもまどらせる心地良い振動と、路線バスのイメージは十人十色、さまざまだ。「とまりたるバスが大きく柳散る」と詠んだ高浜虚子のように、そのサイズ感に強い印象を持つ人もいるだろう。こうした路線バスを形容する主立った修飾語に「電気」が加わる日もそう遠くはない。京阪バスは昨年末、京

都駅から京阪七条を経由し、梅小路までを走る全車両を電動化、脱炭素社会の実現に向けた大きな一歩を踏み出した。「複

と電気バスの間には思いのほか長い歴史がある。日本のバス事業の始まりと言われる堀川中立亮、七条駅間と堀川中立亮、

条間で、架線から取った電気を動力とする「トロリーバス」が運行開始、さらに11年後の40(昭和15)年には、中島製電気

の試験をまたも突き付けた。観光都市・京都はさびれた宿場町のように閑散とし、夜間は人っ子一人いない。まさに20年の

一時の猛威と比較すれば、弱毒化が進んでいるとの見方も確かにある。ただ、根本的な解決には至っておらず、不透明感

は拭いきれない。写真の京都駅ビル越しに見る青空のように、人の心が見事なまでに晴れ渡るの

## 寅

2022

## 冬を越せば新たな芽吹き

のえとら」にあたる。寅年は、春が来て草木が生じる年とされる。半面、壬は厳冬、静謐(せいひつ)を意味する。従って壬寅は、厳しい冬を越えて芽吹き始めた新たな生命が、次なる成長の礎となるイメージだ。

自動車業界は、コロナという厳しい冬にさらえながらも、アフターコロナ時代をにらみ、力を蓄えている。業界にとっての「春」が待ち遠しい。

新年あけましておめでとうございます。  
今北自動車工業は、本年もボルボトラックとともに  
運送事業者様のパートナーとして  
京都の物流業界を精一杯応援してまいります。



ボルボトラック京都府ディーラー

コストダウンの力になりたい  
今北自動車工業株式会社  
京都市右京区西院月双町76番地 [カドノ大路五条上ル一筋目東入る]



TEL (075) 311-2800  
FAX (075) 321-6339

VOLVO

